

第65回中国・四国精神神経学会
第48回中国・四国精神保健学会

プログラム

特別講演

シンポジウム

ランチョンセミナー

特別講演 1

第1日目 11月27日(木)

第1会場 (1F メインホール)

15:20~16:20

座長：樋口 文宏 (山口大学医学部附属病院 精神科神経科)

脳画像研究からひもとく摂食障害：神経性やせ症の診断と治療のヒントを探る

関口 敦 (九州大学大学院医学研究院 心身医学)

特別講演 2

第2日目 11月28日(金)

第1会場 (1F メインホール)

11:40~12:40

座長：中川 伸 (山口大学大学院医学系研究科 高次脳機能病態学講座)

リカバリーを支える精神科医療

藤井 千代 (国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所
地域精神保健・法制度研究部)

シンポジウム 1

第1日目 11月27日(木)

第1会場 (1F メインホール)

10:10～12:10

精神科訪問看護の現場から

座長：土屋 直隆 (医療法人扶老会 扶老会病院)

池田 正国 (医療法人社団共愛会 徳山静養院)

SY1-1 多職種連携による協働支援の取り組み ～家族を失い陽性症状の激しい患者への訪問看護を行って～

落合 明子 (医療法人山陽会 長門一ノ宮病院)

SY1-2 訪問看護における自閉的な生活が続いている利用者に対する作業療法士の関わり

中野 稔之 (医療法人水の木会 下関病院 訪問看護ステーション)

SY1-3 精神科訪問看護ステーションの現状と課題

野中 美由貴 (訪問看護ステーション f)

SY1-4 精神科デイケア通所患者に訪問看護を導入した効果

河邊 智宏 (医療法人新生会 いしい記念病院)

シンポジウム 2

第1日目 11月27日(木)

第1会場 (1F メインホール)

16:30～18:30

病院機能に寄与する精神科リエゾン – 地域で醸成するリエゾン文化の高み –

座長：和田 健 (広島市立広島市民病院 精神科)

和辻 健太 (川崎医科大学総合医療センター 心療科)

SY2-1 岡山大学病院高度救命救急センターにおける精神科リエゾン活動

藤原 雅樹 (岡山大学学術研究院医療開発領域 精神科神経科)

SY2-2 当院における救命救急病棟での新たなリエゾン活動の試み – ICU入室成人のPADIS (痛み、不穏／鎮静、せん妄、不動、睡眠障害) ガイドラインに即した協働の経験から –

大村 淳 (広島大学病院 精神科)

SY2-3 鳥取大学医学部附属病院における周産期の精神科連携の現状

山梨 豪彦（鳥取大学医学部 脳神経医科学講座 精神行動医学分野）

SY2-4 島根大学医学部附属病院精神科神経科における周産期リエゾンについて

長濱 道治（島根大学医学部 精神医学講座）

SY2-5 せん妄ケアに寄与する精神科リエゾン ～当院における認知症せん妄ケアチームの活動から考える～

北野 絵莉子（川崎医科大学総合医療センター 心療科）

SY2-6 総合病院におけるせん妄リエゾンの現状と課題 – 山口大学の経験から –

萩原 康輔（山口大学医学部附属病院 精神科神経科）

シンポジウム3

第2日目 11月28日(金)

第1会場 (1F メインホール)

9:30～11:30

リカバリーを支える包括的な地域医療の在り方を探る

座長：稲垣 正俊（島根大学医学部 精神医学講座）

井上 真一郎（新見公立大学健康科学部 看護学科）

SY3-1 医療観察法病棟運用経験から考える包括的地域医療とリカバリー支援

磯村 信治（山口県立こころの医療センター）

SY3-2 リカバリーを支える包括的地域医療の実践 – 高知医療センターこころのサポートセンターでの取り組み –

澤田 健（高知医療センター こころのサポートセンター）

SY3-3 大学病院における生活環境相談員（精神保健福祉士）の役割と退院支援への取り組み

高砂 真明（山口大学医学部附属病院 患者支援センター 医療ソーシャルワーカー）

SY3-4 地域精神医療における利用者のリカバリーに寄り添った支援ネットワークの形成について – 症例を通して –

松浦 昂（医療法人社団青史会 楯築診療所）

シンポジウム4

第2日目 11月28日(金)

第1会場 (1F メインホール)

14:00～16:00

こどものネット・ゲーム依存症

座長：松田 文雄（医療法人翠星会 松田病院）

佐藤 仁（医療法人社団五色会 こころの医療センター五色台）

SY4-1 小泉病院インターネット・ゲーム依存外来治療プログラム（^{ケーライズ}K-RISE） とこどものこころの診療の現状と課題

杉江 拓也（医療法人仁康会 小泉病院）

SY4-2 「依存」と「障害」を区別したネット・ゲーム依存の対応法

河邊 憲太郎（愛媛大学大学院医学系研究科 児童精神医学講座）

SY4-3 児童の日常の精神科診療

安田 裕志（医療法人社団五色会 こころの医療センター五色台）

SY4-4 ネット・ゲームに過度に没入する子どもたちへの対応の課題と展望

原田 健一郎（山口大学医学部附属病院 精神科神経科）

ランチョンセミナー 1

第1日目 11月27日(木)

第1会場 (1F メインホール)

12:20～13:20

座長：上野 修一（愛媛大学大学院医学系研究科 精神神経科学）

fMRIを用いたうつ病の脳回路病態の解明と臨床応用への展開

岡田 剛（広島大学大学院医系科学研究科 精神神経医科学）

共催：ヴィアトリス製薬合同会社

ランチョンセミナー 2

第1日目 11月27日(木)

第2会場 (2F 会議室201)

12:20～13:20

座長：中川 伸（山口大学大学院医学系研究科 高次脳機能病態学講座）

入口と出口を見据えたこれからの不眠症治療戦略
～オレキシン受容体拮抗薬への期待～

内村 直尚（久留米大学）

共催：Meiji Seika ファルマ株式会社

ランチョンセミナー 3

第2日目 11月28日(金)

第1会場 (1F メインホール)

12:50～13:50

座長：松原 敏郎（山口大学大学院医学系研究科 高次脳機能病態学講座）

レカネマブの導入と評価、継続連携の工夫について
～当科での取り組みからの考察～

石川 一郎（香川大学医学部 精神神経医学講座）

共催：エーザイ株式会社／バイオジェン・ジャパン株式会社

ランチョンセミナー4

第2日目 11月28日(金)

第2会場 (2F 会議室201)

12:50～13:50

座長：伊賀 淳一（愛媛大学大学院医学系研究科 精神神経科学）

“眠れない”に応える診療とは ～睡眠専門医の視点で読み解く～

谷口 充孝（互恵会 大阪回生病院 睡眠医療センター）

共催：塩野義製薬株式会社

第65回中国・四国精神神経学会

プログラム

一般演題

一般演題 [中国・四国精神神経学会]

第1日目 11月27日(木)

第3会場 (2F 会議室205)

一般演題1

10:10~10:40

器質(自己免疫・神経疾患) 座長: 酒本 真次 (岡山大学学術研究院医歯薬学域 精神神経病態学)

P01 身体表現性障害やうつ病として加療されていた神経核内封入体病の一例

○田中 真之¹、滝川 寛之¹、竹之下 慎太郎²、植田 真司²、渡部 一予³、寺田 整司³、
酒本 真次⁴、高木 学⁴

¹岡山大学 精神科神経科、²岡山大学学術研究院医療開発領域 精神科神経科、

³慈恵会 慈恵病院 精神科、⁴岡山大学学術研究院医歯薬学域 精神神経病態学

P02 措置入院となった抗NMDA受容体脳炎の一例

○楠目 直紀¹、野口 勝宏¹、三竿 慧祐¹、佐々木 皓大¹、岡田 裕希²、上野 祐介¹、
樋笠 直哉¹、木戸 瑞江¹、石川 一郎¹、森 崇洋²、角 徳文³、中村 祐¹

¹香川大学医学部 精神神経医学講座、²香川大学医学部 地域連携精神医学講座、

³香川大学医学部 臨床心理学科 精神医学

P03 幻覚妄想を認めた抗LGI-1抗体関連脳炎の1例

○佐々木 浩貴¹、安田 華枝¹、山口 望²、酒本 真次³、池田 智香子¹、鷲田 健二¹、
寺田 整司¹、石津 秀樹¹、青木 省三¹、武田 俊彦¹

¹慈恵病院、²岡山県精神科医療センター、³岡山大学学術研究院医歯薬学域 精神神経病態学

第1日目 11月27日(木)

第3会場 (2F 会議室205)

一般演題2

10:40~11:20

認知症(治療と管理) 座長: 吉野 祐太 (愛媛大学大学院医学系研究科 精神神経科学)

P04 認知症診療における経皮吸収製剤の応用使用について

○今中 章弘、高見 浩、福本 拓治、小鶴 俊郎、田中 敬治、坂尾 良一、織田 一衛
和恒会 ふたば病院 精神科

P05 幻聴と被害妄想が前景に立った認知症の一例

○海老野 佳穂¹、野口 勝宏¹、大屋 貴明²、佐々木 皓大¹、岡田 裕希³、上野 祐介¹、
樋笠 直哉¹、木戸 瑞江¹、石川 一郎¹、森 崇洋³、角 徳文⁴、中村 祐¹

¹香川大学医学部 精神神経医学講座、²独立行政法人国立病院機構 いわき病院、

³香川大学医学部 地域連携精神医学講座、⁴香川大学医学部 臨床心理学科 精神医学

P06 認知症に伴う経口摂取不足による高Na血症が疑われた腎性尿崩症の一例

○岡本 龍太郎、山下 将平、金原 誠、高木 彬宏、皆尾 望、和田 健
広島市立病院機構 広島市立広島市民病院

P07 怠薬により発作が再燃したてんかんに認知症が併存した一例

○日根野 清、吉野 祐太、越智 紳一郎、上野 修一
愛媛大学医学部附属病院 精神神経科

第1日目 11月27日(木)

第3会場 (2F 会議室205)

一般演題3

11:20~12:10

児童思春期・発達障害

座長：村上 伸治（川崎医科大学 精神科学教室）

P08 昭和大学附属烏山病院が開発した自閉スペクトラム症専門プログラムに参加後のASD患者にみられた社会性の改善を予測符号化理論によって考察する

○吉本 啓一郎、堀 月奈、小笠原 庸行、高橋 礼子、千代岡 司幸
特定医療法人一条会 渡川病院

P09 鳥取大学医学部附属病院精神科・児童思春期病床における運用と治療の取り組み

○山梨 豪彦、岩田 正明
鳥取大学医学部 脳神経医科学講座 精神行動医学分野

P10 自傷痕が身体虐待として対処された、罪業妄想を伴う重症うつ病の一例

○稲野 秀、稲野 靖枝
長門一ノ宮病院

P11 当院の児童思春期病棟の動向 ～開設から7年をむかえて～

○稲野 靖枝、稲野 秀
長門一ノ宮病院

P12 発達症の存在が発症に関係したと考えられた短期精神症の1例。

○濱江 弘太郎、兼子 幸一
社会医療法人仁厚会 医療福祉センター 倉吉病院

第1日目 11月27日(木)

第3会場 (2F 会議室205)

一般演題4

16:30~17:20

認知症(特定認知症)

座長：藤戸 良子（高知大学医学部 神経精神科学講座）

P13 多彩な精神症状を呈した脳脚性幻覚症の一例

○滝川 寛之¹、守安 江梨伽¹、矢野 峻伍^{1,2}、竹之下 慎太郎³、植田 真司³、
酒本 真次⁴、高木 学⁴

¹岡山大学病院 精神科神経科、²岡山県精神科医療センター、

³岡山大学学術研究院医療開発領域 精神科神経科、

⁴岡山大学学術研究院医歯薬学域 精神神経病態学

P14 左側頭極の顕著な萎縮から意味性認知症が疑われたが非典型的な失語症状を呈し、診断に難渋した1例

○竹内 綾香、下條 将輝、藤戸 良子、茶谷 佳宏、森田 啓史、數井 裕光
高知大学医学部 神経精神科学講座

P15 幻視に伴う行動異常の顕在化を契機に精神科入院となったレビー小体型認知症の症例検討

○広瀬 彩
鳥取大学医学部附属病院 精神科

P16 親族とのトラブルを契機に幻覚妄想状態を呈したレビー小体型認知症の一例

○金原 誠、和田 健、皆尾 望、高木 彬宏、山下 将平、岡本 龍太郎
広島市民病院

P17 相貌失認や語義失語、同定障害を伴い、意味性認知症と診断した症例

○高橋 優斗¹、森 崇洋¹、岡田 裕希¹、佐々木 皓大²、上野 祐介²、野口 勝宏²、
樋笠 直哉²、木戸 瑞江²、石川 一郎²、角 徳文³、中村 祐²
¹香川大学医学部 地域連携精神医学講座、²香川大学医学部 精神神経医学講座、
³香川大学医学部 臨床心理学科 精神医学

第1日目 11月27日(木)

第3会場 (2F 会議室205)

一般演題5

17:20~18:00

統合失調症(治療と類型) 座長：岡久 祐子(岡山大学学術研究院医療開発領域 精神科神経科)

P18 経過中に神経性やせ症を合併した慢性期統合失調症の一例

○加藤 庸介、中村 玉美、市原 早紀、水本 智大、野田 稔子、樋口 文宏、中川 伸
山口大学医学部附属病院 精神科神経科

P19 過量服薬による入院を契機に薬剤調整に成功した若年発症の統合失調症の一例

○水谷 雄一¹、馬場 悠花里¹、中村 有香²、植田 真司²、酒本 真次³、高木 学³
¹岡山大学病院 精神科神経科、²岡山大学学術研究院医療開発領域 精神科神経科、
³岡山大学学術研究院医歯薬学域 精神神経病態学

P20 認知症をはじめとする器質性精神障害との鑑別を要した最遅発性統合失調様精神病(very late-onset schizophrenia-like psychosis: VLOSLP)の一例

○赤尾 玲実、赤松 正規、森田 啓史、藤戸 良子、数井 裕光
高知大学医学部 神経精神科学講座

P21 入院中にオープンダイアログを行い効果的であった強い妄想を抱く統合失調症患者3例

○北代 晶帆、三井 勇輝、赤尾 敦、中村 朔也、船越 祥子、大原 伸騎、土田 亜希、
澤田 健
高知県・高知市病院企業団立高知医療センター こころのサポートセンター

第1日目 11月27日(木)

第3会場 (2F 会議室205)

一般演題6

18:00~18:30

司法精神医学・社会精神医学

座長：中瀧 理仁(徳島大学病院 精神科神経科)

P22 救命救急センター受診後の10歳代女性自殺未遂者3症例における精神保健福祉センターとの自殺未遂者支援連携

○三井 勇輝、澤田 健、土田 亜希、大原 伸騎、船越 祥子、北代 晶帆、中村 朔也、
赤尾 敦
高知医療センター

P23 医療観察法施行20年を迎えて－当院における医療観察法病棟運用の現況と展望－

○磯村 信治、兼行 浩史
山口県立こころの医療センター

P24 飲酒下での自殺の社会的・医学的特徴の検討 ～山口県における法医学解剖事例の調査より～

○角光 慧美¹、姫宮 彩子²、松原 敏郎³、高瀬 泉²
¹山口大学医学部 医学科、²山口大学大学院医学系研究科 法医学講座、
³山口大学大学院医学系研究科 高次脳機能病態学講座

第2日目 11月28日(金)

第3会場 (2F 会議室205)

一般演題7

9:30～10:00

精神科医療システム(救急・災害)

座長：大拙 孝治 (島根大学医学部 精神医学講座)

P30 山口県のDPAT活動のこれまでの活動実績と、今後の展望と課題

○角田 武久¹、新川 甲太²、萩原 康輔²、藤田 実¹、兼行 浩史¹
¹山口県立こころの医療センター、²山口大学医学部 精神科神経科

P31 山口県精神科救急医療システムの現状と課題

○原賀 健一、角田 武久、磯村 信治、藤田 実、兼行 浩史
山口県立こころの医療センター

P32 自殺企図から行政への通報に繋がった高齢者虐待の一例

○小林 正明¹、山科 貴裕¹、河崎 玲音²、江島 悠太²、賣豆紀 晶洋²
¹山口県立総合医療センター 神経科、²山口県立総合医療センター 救急科

第2日目 11月28日(金)

第3会場 (2F 会議室205)

一般演題8

10:00～10:30

摂食障害(医学的管理・特殊事例)

座長：和辻 健太 (川崎医科大学総合医療センター 心療科)

P33 神経性無食欲症の入院治療中に「にがり」を過剰摂取し高カリウム血症を呈した1例

○江草 純和、村上 伸治、田中 賀大、浅野 宇貴、白形 鷹博、澤原 光彦、石原 武士
川崎医科大学医学部 精神科学教室

P34 自閉スペクトラム症を合併し、治療に難渋した神経性やせ症の一例

○佐々木 太珠¹、横出 晃能¹、李 大賢²、千田 真友子³、中西 一秀⁴、植田 真司³、
高木 学⁵
¹岡山大学病院 精神科神経科、²岡山大学学術研究院医療開発領域 卒後臨床研修センター、
³岡山大学学術研究院医療開発領域 精神科神経科、⁴岡山県精神科医療センター、
⁵岡山大学学術研究院医歯薬領域 精神神経病態学

P35 極端な低体重を呈した回避・制限性食物摂取症(ARFID)に対し、オランザピンが有効であった一例

○三船 義博、坂井 大五、三木 洋介、志田 みなみ、大西 睦美、平田 仁美、
横村 真、今井 秀記、鴨居 鈴委子、藤井 聡、三船 和史
医療法人社団三愛会 三船病院

第2日目 11月28日(金)

第3会場 (2F 会議室205)

一般演題9

10:30~11:00

摂食障害(心理社会的アプローチ)

座長：富岡 有紀子(徳島大学病院 精神科神経科)

P36 MANTRAの家族セッションを行ったことで本人からは高い満足感、家族には疾病の理解と患者との生活への不安の軽減を得られた神経性やせ症の1例

○中島 瑤子¹、石田 真璃^{1,2}、馬場 悠花里¹、井上 尚子³、中村 有香⁴、千田 真友子⁴、植田 真司⁴、高木 学⁵

¹岡山大学病院 精神科神経科、²公益財団法人慈圭会 慈圭病院、

³岡山大学病院 医療技術部 臨床心理部門、

⁴岡山大学学術研究院医療開発領域 精神科神経科、

⁵岡山大学学術研究院医歯薬学域 精神神経病態学

P37 家族力動に着目した入院中の介入が奏功した児童思春期神経性やせ症の一例

○篠原 貴大、水本 智大、市原 早紀、中村 玉美、野田 稔子、樋口 文宏、中川 伸
山口大学医学部附属病院 精神科神経科

P38 入院治療による行動制限療法により早期に神経性食欲不振症の症状の消失に至った一例

○三輪田 高房、久門 啓志、山崎 聖広、越智 紳一郎、伊賀 淳一、上野 修一
愛媛大学大学院医学系研究科 精神神経科学

第2日目 11月28日(金)

第3会場 (2F 会議室205)

一般演題10

11:00~11:30

精神科医療システム(特定領域・連携)

座長：倉田 明子(広島大学大学院医系科学研究科 精神神経医科学)

P39 中国地方から取り組む、精神障害者に対するがん検診勧奨法の実装研究

○藤原 雅樹¹、山田 裕士²、高木 学³、稲垣 正俊⁴

¹岡山大学学術研究院医療開発領域 精神科神経科、²積善病院、

³岡山大学学術研究院医歯薬学域 精神神経病態学、⁴島根大学医学部 精神医学講座

P40 山口産業保健総合支援センターでの産業保健相談員の相談業務についての報告

○角田 武久¹、藤田 善政²

¹山口県立こころの医療センター、²山口産業保健総合支援センター

P41 多職種へ疾病理解を促すことで周産期からの支援体制を継続することができた発達障害の1症例

○長濱 道治、河野 公範、桑原 翔大、宮崎 洋佑、飯島 慶郎、林 茉衣、三原 靖葉、正岡 浩、伊藤 司、佐藤 皓平、山下 智子、岡崎 四方、大舘 孝治、和氣 玲、稲垣 正俊

島根大学医学部 精神医学講座

第2日目 11月28日(金)

第3会場 (2F 会議室205)

一般演題11

14:00~14:50

ECT 関連

座長：石川 一郎 (香川大学医学部 精神神経医学講座)

P42 修正型電気けいれん療法中に遷延する高振幅徐波を認めた2症例の検討

○上山 佑一郎、松田 宙也、中山 知彦、中瀧 理仁、沼田 周助
徳島大学病院 精神科

P43 パーキンソン病およびレビー小体型認知症に伴う精神症状に対するECT：14例のケースシリーズ

○岡本 裕貴¹、千田 真友子²、横出 晃能¹、竹之下 慎太郎²、藤原 雅樹²、酒本 真次³、高木 学³

¹岡山大学病院 精神科神経科、²岡山大学学術研究院医療開発領域 精神科神経科、

³岡山大学学術研究院医歯薬学域 精神神経病態学

P44 COVID-19後に9か月間カタトニアを呈した30代男性に急性期ECTが奏功した一症例

○能美 翔¹、光井 瞳¹、山田 典宏¹、山科 貴裕²、松原 敏郎¹、中川 伸¹

¹山口大学医学部附属病院 精神科神経科、²山口県立総合医療センター 神経科

P45 反復する気分症状やカタトニアに対して電気けいれん療法が奏効した遅発緊張病の1例

○古庵 伊吹、藤井 友里、杉田 隆裕、大賀 健市、増田 慶一、岡田 剛

広島大学医学部 精神科

P46 ロクロニウムを使用したECTのプロトコールの検討

○青木 岳也^{1,2}、磯村 信治²、新造 竜也²、兼行 浩史²

¹周南病院 麻酔科、²山口県立こころの医療センター 精神科

第2日目 11月28日(金)

第2会場 (2F 会議室201)

一般演題12

14:40~15:30

リエゾン

座長：萩原 康輔 (山口大学医学部附属病院 精神科神経科)

P25 糖尿病患者の意識障害と不明熱の原因として高浸透圧性高血糖症候群による高Na血症が疑われた一例

○江副 由佳、村上 伸治、小笠原 康人、本間 好花、後藤 信太郎、田中 賀大、宮崎 哲治、石原 武士

川崎医科大学附属病院 精神科学教室

P26 身体科との緊密な連携により診断と精神科治療介入を行い得た自己瀉血による作為症の1例

○守安 江梨伽¹、矢野 峻伍^{1,2}、滝川 寛之¹、竹之下 慎太郎³、中村 有香³、藤原 雅樹³、植田 真司³、清家 圭介⁴、高木 学⁵

¹岡山大学病院 精神科神経科、²岡山県精神科医療センター、

³岡山大学学術研究院医療開発領域 精神科神経科、⁴岡山大学病院 血液・腫瘍内科、

⁵岡山大学学術研究院医歯薬学域 精神神経病態学

P27 精神症状により身体的治療に意思決定支援を要した2症例

○山口 雄大、青木 真理子、吉田 結理、中山 知彦、中瀧 理仁、沼田 周助
徳島大学 精神科神経科

P28 メトホルミンは術後せん妄と死亡リスクに影響を与えるか：後ろ向きコホート研究

○梶谷 直史¹、山梨 豪彦¹、吉岡 大祐^{1,2}、小松 弘二¹、西口 毅¹、岩田 正明¹
¹鳥取大学医学部附属病院、²養和病院

P29 肺癌を発症した統合失調症患者に化学療法を開始するためクロザピンを中断した一例

○本間 好花、高橋 優、武藤 遥、和辻 健太、江副 由佳、小笠原 康人、石原 武士
川崎医科大学 精神科学教室

第2日目 11月28日(金)

第3会場 (2F 会議室205)

一般演題13

14:50~15:40

気分・ストレス・物質関連障害

座長：樋口 文宏（山口大学医学部附属病院 精神科神経科）

P47 転居支援などの環境調整を要したためこみ症の一例

○近藤 希^{1,2}、松本 洋一郎²、大盛 航^{2,3}、増田 慶一²、岡田 剛²
¹広島市立北部医療センター 安佐市民病院 精神科、²広島大学病院 精神科、
³国立病院機構呉医療センター・中国がんセンター

P48 心理検査に基づく自己理解が問題行動改善のきっかけとなった、神経性無食欲症とアルコール依存症候群が併存した若年成人の一例

○森 祥子¹、田中 賀大¹、薬師寺 晋¹、武藤 遥¹、井上 蓉子¹、高橋 優¹、
宮崎 哲治¹、村上 伸治¹、赤松 祐美²、谷 英俊²、石原 武士^{1,2}
¹川崎医科大学 精神科学、²川崎医科大学附属病院 臨床心理センター

P49 不眠症治療におけるダリドレキサントの有効性について

○森 昭博¹、岡田 祐希²、佐々木 皓大¹、上野 祐介¹、野口 勝宏¹、樋笠 直哉¹、
木戸 瑞江¹、石川 一郎¹、森 崇洋¹、角 徳文³、中村 裕¹
¹香川大学医学部 精神神経医学講座、²香川大学医学部 地域連携精神医学講座、
³香川大学医学部 臨床心理学科 精神医学

P50 抗うつ薬の副作用制限下でrTMSを併用し改善を得た高齢者うつ病の一例

○清水 崇禎、佐藤 仁
医療法人社団五色会 こころの医療センター五色台

P51 うつ病の治療中にreversible cerebral vasoconstriction syndrome (RCVS)を発症した1例

○新川 甲太、樋口 文宏、中川 伸
山口大学医学部 精神科神経科

第48回中国・四国精神保健学会

プログラム

一般演題

一般演題 [中国・四国精神保健学会]

第1日目 11月27日(木)

第2会場 (2F 会議室201)

一般演題1

10:10~10:50

チーム医療、多職種連携

座長：綿貫 俊夫（医療法人和同会 吉南病院）

M01 がん相談員の自殺対策への困難感軽減に向けた取り組み

○森藤 優¹、城野 裕朗²

¹元福山市民病院、²福山医療センター

M02 壮年期男性の職場復帰を目指して～うつ病の苦悩を一緒に乗り越えて～

○塚本 陸美、増田 彩、西山 英里、片山 康広、水木 寛

医療法人水の木会 下関病院

M03 精神疾患をもつ人々のリカバリーを支援するための多職種連携支援チェックシート作成の試み

○篠崎 亜由美¹、林 輝男²、籾脇 健司³

¹社会医療法人清和会 西川病院 リハビリテーション部、

²社会医療法人清和会 西川病院 診療部、³東北福祉大学 健康科学部

M04 ストレスケア病棟における服薬自己管理

神原 徹、寒川 みゆき、古川 光昭、○岡島 壮太郎、宮崎 浩江、杉本 和子

医療法人社団中和会 西紋病院

第1日目 11月27日(木)

第2会場 (2F 会議室201)

一般演題2

10:50~11:20

慢性医療

座長：兼行 浩史（山口県立こころの医療センター）

M05 飲水患者が感じるストレスを軽減させる取り組み～余暇活動を通し関係性の再構築を試みて～

○石原 健、横田 竜一、山本 奈央弥

医療法人社団三和会 しおかぜ病院

M06 統合失調症の妄想により食事摂取量が低下している患者への関わり

○金子 渚、村上 大輔、石田 賢次郎、中村 良太郎

医療法人光の会 重本病院

M07 患者のリハビリ意欲を高める看護者の関わり～傾聴と寄り添うことの大切さ～

○橋本 幸樹、藤原 舞乃、後藤 幹、渡邊 均

医療法人仁康会 小泉病院

第1日目 11月27日(木)

第2会場 (2F 会議室201)

一般演題3

16:30~17:10

地域移行支援、地域支援、長期入院者の退院支援

座長：牧原 紀彦（医療法人若草会 小郡まきはら病院）

M08 療養生活継続支援の必要性の考察

○木村 竜一、河村 優子、久保 大
医療法人和同会 片倉病院

M09 クライシスプランを活用した退院支援を行ってみて

○小田 香里、大賀 一輝、川野 孝二
医療法人光の会 重本病院

M10 メンタルヘルスリテラシー教育の実践－DPAT（災害派遣精神医療チーム）の活動を地域に

○米田 一実、岸本 陽平、奴田原 脩一、原岡 寛典
山口県立こころの医療センター

M11 退院後の生活に着目した患者・家族支援 ～クライシスプランを用いた介入～

○出羽 達、今井 利基、西原 武志
医療法人仁康会 小泉病院

第1日目 11月27日(木)

第2会場 (2F 会議室201)

一般演題4

17:10~17:40

外来医療、訪問看護、地域包括ケア、デイケア

座長：井上 宏治（医療法人社団葵会 稗田病院）

M12 支援関係の破綻に至った症例から学ぶ－治療と就労を並行した若年女性の事例を通して－

○植田 泰斗、村上 都子、永田 耕介
社会医療法人昌林会 安来第一病院 精神科デイケアセンター ドリーム

M13 NEARを入り口としたデイケアの取り組み－リカバリーを目指す社交不安障害の一例－

○岩本 賢治、尾田 由香、曲淵 馨子、岩本 瑞代、内田 香代子、池田 まな美、
小林 理子、綿貫 俊夫
医療法人和同会 吉南病院

M14 精神科退院後の再入院予防に向けたアンケート調査に基づく支援体制整備の取り組み

○岡本 幹徳、野口 卓也、八田 英行
公益財団法人慈圭会 慈圭病院 デイケア課

第1日目 11月27日(木)

第2会場 (2F 会議室201)

一般演題5

17:40~18:20

認知症、高齢者医療、児童・思春期

座長：水木 寛（医療法人水の木会 下関病院）

M15 重度認知症デイケアにおけるカンフォータブルケアの実践と今後の課題

○角 典子

医療法人養和会 養和病院

M16 精神科病院における認知症カフェに関する実態調査

○光貞 美香、近 夕子、賀山 道広、吉松 友貴、戸川 桂一、堺 愛、石丸 美智子

山口県立こころの医療センター

M17 地方の精神科病院が取り組んだ児童思春期外来

○吉田 周平¹、富田 祐希¹、田村 奈央¹、小野 信周¹、水木 寛²

¹医療法人水の木会 萩病院、²医療法人水の木会 下関病院

M18 インターネット・ゲーム障害集団治療プログラム ～“居る場所”づくりが本人の自己肯定感向上に影響した症例～

河津 良太、○村上 一幸、須田 啓紀、入谷 健太、出羽 達、杉江 拓也

医療法人仁康会 小泉病院

第2日目 11月28日(金)

第2会場 (2F 会議室201)

一般演題6

9:30~10:00

身体合併症、院内感染

座長：佐々木 順（医療法人信和会 高嶺病院）

M19 高度急性期病院の精神神経科における早期離床リハビリテーション導入とその効果

○金永 有美子、松浦 由紀子、奥田 啓子、矢野 伸哉、大下 絢水

県立広島病院

M20 低血糖昏睡により気管切開に至った最重度の神経性やせ症患者的看護実践報告

○池田 暁子、中山 愛子、水田 美奈子

川崎医科大学附属病院 看護部 11階南病棟

M21 精神科病院におけるマスク着用に関する意識調査

○椋木 由佳、戸川 桂一

地方独立行政法人山口県立病院機構 山口県立こころの医療センター

第2日目 11月28日(金)

第2会場 (2F 会議室201)

一般演題7

10:00~10:30

看護師業務、薬剤師業務、栄養士業務、精神保健福祉士業務、臨床心理士業務

座長：大楽 良和（医療法人愛命会 泉原病院）

M22 精神科病棟へ異動した看護師の抱える困難感と職場適応に向けた教育的支援の取り組み

○谷本 彩香、立石 修平、片山 真由美

広島大学病院 看護部

M23 強迫症への認知行動療法が摂食行動にも影響を及ぼした神経性やせ症の一例

○吉賀 麻世¹、樋口 文宏¹、光井 瞳¹、藤井 優子¹、佐藤 裕子²、内村 水紀¹、
久木原 未紗¹、中川 伸¹

¹山口大学医学部附属病院 精神科神経科、²山口大学医学部附属病院 緩和ケアセンター

M24 医薬品の供給不足時における当院での院外処方箋の取り扱いについて

○藤田 和子

医療法人社団中和会 西紋病院

第2日目 11月28日(金)

第2会場 (2F 会議室201)

一般演題8

10:30~11:10

作業療法、理学療法、摂食機能療法、薬物療法、メンタルヘルス

座長：高橋 俊文（医療法人新生会 いしい記念病院）

M25 意味のある作業を通じた達成体験が治療に寄与した神経性やせ症の一例

○山縣 宏之、中村 玉美、加藤 庸介、樋口 文宏、下瀬 桃子、中川 伸

山口大学医学部附属病院 精神科神経科

M26 精神科病棟へのMCTの導入とその有用性について

○池田 晶代、小林 理子、吉富 綾子、重村 晶子、綿貫 俊夫

医療法人和同会 吉南病院

M27 レカネマブ投与を行った早期アルツハイマー病患者との自分史作成

○尾崎 千春¹、山田 真由¹、茶谷 佳宏²、藤戸 良子²、森田 啓史²、大石 大¹、
数井 裕光²

¹高知大学医学部附属病院 医療技術部リハビリテーション部門、

²高知大学医学部 神経精神科学講座

M28 地域の支合(しあわせ)づくり。プロスポーツチーム・行政とともに取り組んだ一体的介護
予防事業。

○奴田原 脩一

地方独立行政法人山口県立こころの医療センター 地域連携室

第2日目 11月28日(金)

第2会場 (2F 会議室201)

一般演題9

14:00～14:40

その他

座長：小野 信周（医療法人水の木会 萩病院）

M29 精神科病院併設の宿泊型自立訓練事業所における利用者の変遷

○田村 良次¹、渡部 武志²、枝國 典子¹

¹医療法人光の会 重本病院、²医療法人光の会 ほっとホーム一歩社

M30 多重人格を抱える複雑性PTSD患者への信頼関係構築による心理的变化

○神茂 由沙

医療法人和同会 吉南病院

M31 医療者の人中心のケアに関する認識評価ツール (PCCI) の臨床応用の検討

○中谷 空¹、Soriano Krishan²、大西 海斗²、高島 佳之³、宮川 操⁴、谷岡 哲也⁵

¹徳島大学医学部 保健科学 看護学専攻、²徳島大学大学院保健科学研究科、

³奈良県立医科大学医学部 看護学科、⁴徳島大学医学部 保健学科、

⁵徳島大学大学院医歯薬学研究部

M32 入院患者の私物整理状況の改善を試みて

○戸島 正博

医療法人貴和会 防府病院